

韓国研修レポート

21A041 木下知樹

私達は2023年8月7日から8月10日の三泊四日で韓国研修に参加しました。

8月7日は12:00前後に仁川空港に着き、そこからリムジンバスで明洞周辺ホテルに到着しました。そこから自由時間があり、夜、先生方と一緒にチーズダッカルビを食べに行きました。とても甘辛く早速韓国の気分を味わいました。

8月8日は朝9:00から電車やバスを使い、漢陽大学校大学病院に見学に行きました。

歴史は1972年開院、1985年心臓センター追加、1992年3次医療機関に指定、1997年リウマチに特化した病院となりました。そこから、2003年国際医療センター、2008年ロボット治療、2009年リウマチ関節炎センター、2010年重症筋無力症センター、2014年脳神経治療センター、2017年急命センターとなりました。

病床861床、入院患者600名程度、2500人の外来患者が毎日来ている。

職員は2024名の薬剤師は29名であり勤務時間は8:30～17:30働いている。別で夜勤のみの薬剤師は6名おり、毎日二人ずつで夜勤をしている。薬剤師一人に対して入院患者30人

外来処方箋70枚対応しており、すごい大変だと思った。また、薬剤師が薬を処方している姿を見たが、韓国は日本と比べ服装に自由度があった。

12:00頃、漢方市場、漢方博物館を見学しました。漢方市場では、見たことがない漢方や学校の実習中に取り扱った漢方などがありました。また、漢方の独特な匂いが強くすごく面白かったです。漢方博物館では、生薬学で学んだ漢方が実際に展示しており、知識が深まりました。

また、博物館内にゲームや自分にあった漢方など

が調べられる機械がありとても楽しかった。

15:00 時頃ソウル大学医学博物館館に見学しました。西洋建築の作りであり、昔ながらの建物であった。腎不全、心疾患、医療の道具が展示されており、日本では見れないようなものがたくさんありとても興味深かったです。

16:00 頃明洞で有名なかき氷屋さんでかき氷を食べました。暑い中きたのでとても体が冷やされました。

18:00 頃明洞餃子やラーメンを食べました。メニューを頼まず固定のメニューが運ばれてくるのでびっくりしました。

20:00 頃ソウルタワーに行きました。ソウルの街を一望できとても綺麗でした。

8月9日は朝9:00、バスでGC Biopharm 研究所に見学に行きました。

この研究所は250名働いており、とても広く、韓国で2番目に広い施設である。

1967年に創業し、1999年に建てられ最近リニューアルした。緑十字からGC Biopharm に名前が変更された。売上の16%開発費として投資している。一階はバイオ研究所であり、動物の細胞からタンパク質をつくったり、PH、温度、酸素などの研究をしたりする施設である。また、細胞は温度に敏感なため冷凍室で保管する場所やロボットで細胞の移動や管理するなど最先端の施設である。他には職員のみが無料な食堂施設やジムの施設、コンビニなどが常備されており、快適に働ける施設である。

この研究所は、ワクチン、血液製剤、希少疾患を研究し、血液製剤はアジアで一番大きい工場である。

ワクチンについては、投与はインフルエンザが5000万投与、水疱瘡5万投与、FluのワクチンTIVやQIVが3億投与された。

18種類のワクチンが研究されており、そのうち6種類がWHO認証されている。

13:00頃、漢陽大学校薬学の連携薬局に見学に行きました。

薬剤師16名であり、処方箋は1日に約400枚であり、一回の処方箋で6～8ヶ月分の薬を処方する。韓国の薬局は日本のようにチェーン店ではなく、個人の薬局である。また、otc医薬品がすくなく日本とは逆である。保険が効くのはotc医薬品より処方薬が多い。

服薬指導の5個のステップを大事にしている。1. アイスブレイク 2. 事実確認 3. ギリバリング 4. コンフォーム確認 5. 挨拶を大切にしている。一番大切なのはアイスブレイクであり、そこで患者とのコミュニケーションをとり、打ち解けるかが大切である。また、細かい変化や進歩したことなど患者が良い気分させることが重要である。ここは薬剤師の努力が大切である。日本も患者とのコミュニケ

ーションが大事であり、改めて患者との意思疎通が大事だとわかりました。

16:00～18:00頃は、漢陽大学の学生、先生方とお互いの大学のカリキュラムや研究していることなどの発表をしました。

18:00～22:00頃は、漢陽大学の学生、先生達と焼肉をたべました。最初は意思疎通に戸惑い、上手くコミュニケーションが取れませんでした。徐々に話せるようになりとても楽しかったです。韓国の学生と深く話すことでとてもいい経験になりました。

8月10日は台風が韓国に上陸する日であり、帰れるか不安であったが無事に帰れてよかったです。

この三泊四日の韓国研修旅行で、韓国の食や文化、研究施設や薬局、の違いや共通して大事なことをたくさん体験できとてもよかったです。また、漢陽大学の学生との交流をし、普段絶対にできない貴重な体験ができて韓国研修に参加してよかったです。

漢方博物館



GC Biopharm 研究所

